

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【平成31年4月】

■調査概要（データ対象期間：平成31年4月1日～4月30日）

○調査期間：平成31年4月26日～令和元年5月20日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業23企業、製造業23企業、卸売業12企業、小売業28企業

飲食業18企業、サービス業46企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計150企業>

○調査項目：4月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI (Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DI、水準DIともにマイナスから0となった

1. 業況判断

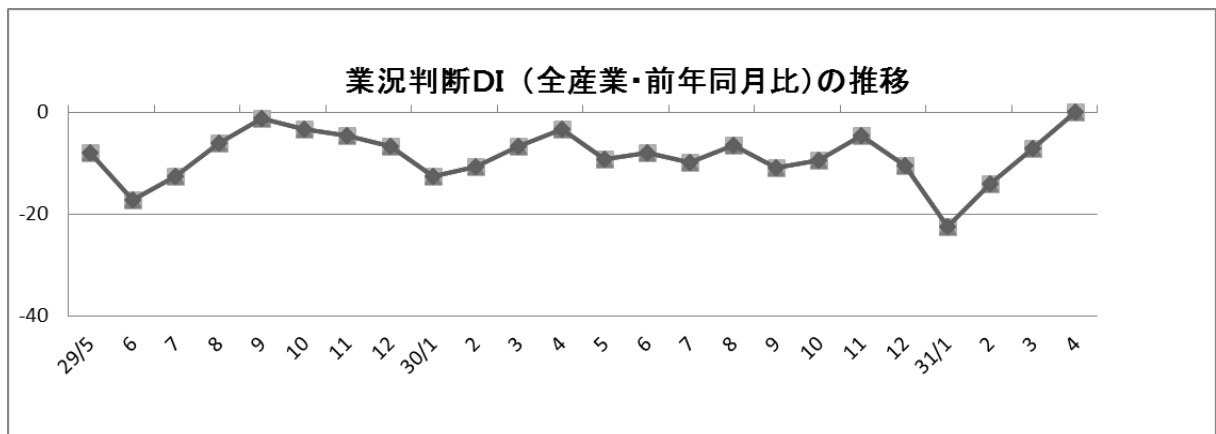
- 全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲7.2）よりマイナス幅が7.2ポイント縮小し、0となった。業種別では、サービス業はプラス幅が拡大し、飲食業はマイナスからプラスに転じ、製造業は横ばいとなった。建設業はマイナスになり、卸売業、小売業はマイナス幅が縮小した。
- 全産業合計の水準DIは、前月（▲5.9）よりマイナス幅が5.9ポイント縮小し、0となった。業種別では、サービス業はプラス幅が拡大し、飲食業はマイナスからプラスに転じ卸売業はマイナスから0になり、製造業はプラスから0となった。小売業はマイナス幅が縮小し、建設業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	14.7 (16.6)	70.6 (59.6)	14.7 (23.8)	0.0 ▲7.2	19.3 (21.9)	61.4 (50.3)	19.3 (27.8)	0.0 ▲5.9
建設業	0.0 (8.3)	91.3 (83.4)	8.7 (8.3)	▲8.7 (0.0)	8.7 (12.5)	78.3 (70.8)	13.0 (16.7)	▲4.3 (▲4.2)
製造業	8.7 (25.0)	82.6 (50.0)	8.7 (25.0)	0.0 (0.0)	26.1 (40.0)	47.8 (35.0)	26.1 (25.0)	0.0 (15.0)
卸売業	8.3 (15.4)	75.0 (38.4)	16.7 (46.2)	▲8.4 (▲30.8)	16.7 (15.4)	66.6 (46.1)	16.7 (38.5)	0.0 (▲23.1)
小売業	17.9 (16.1)	60.7 (54.9)	21.4 (29.0)	▲3.5 (▲12.9)	17.9 (16.1)	50.0 (42.0)	32.1 (41.9)	▲14.2 (▲25.8)
飲食業	27.8 (11.1)	55.5 (55.6)	16.7 (33.3)	11.1 (▲22.2)	27.8 (27.8)	55.5 (38.9)	16.7 (33.3)	11.1 (▲5.5)
サービス業	19.6 (20.0)	65.2 (62.2)	15.2 (17.8)	4.4 (2.2)	19.6 (22.2)	67.4 (57.8)	13.0 (20.0)	6.6 (2.2)

()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
 「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計

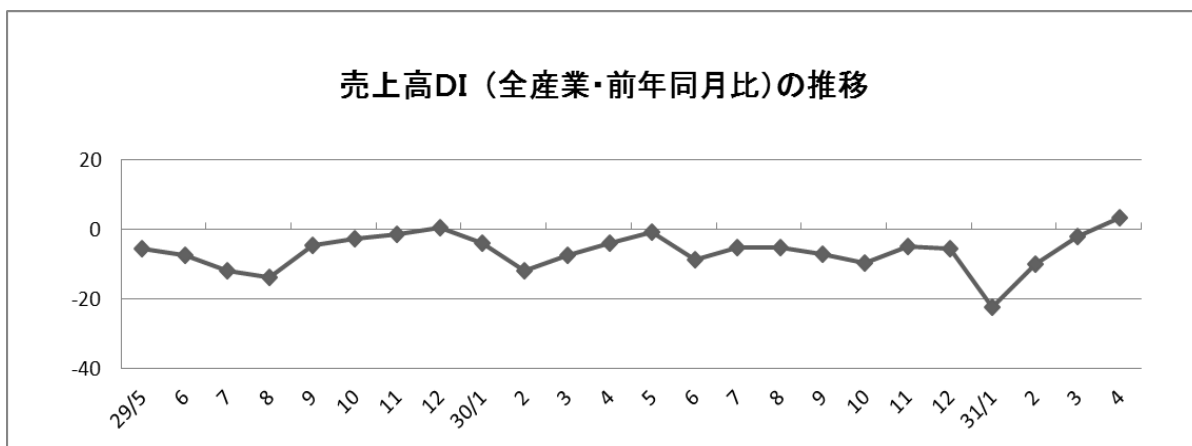


2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（▲1.9）から5.2ポイント拡大しプラスに転じて3.3となった。業種別に見るとサービス業はプラス幅が拡大し、製造業はプラス幅が縮小し、飲食業はマイナスからプラスに転じた。卸売業はマイナスから0に、建設業はプラスからマイナスに転じ、小売業はマイナス幅が縮小した。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
全体	▲0.6	▲8.6	▲5.3	▲5.3	▲7.2	▲9.6	▲4.7	▲5.4	▲9.4	▲22.5	▲10.0	▲1.9	3.3
建設業	4.6	▲4.6	▲8.7	4.3	0.0	16.0	8.7	14.3	0.0	▲10.0	▲20.0	8.4	▲8.7
製造業	8.7	▲5.0	0.0	18.2	13.0	0.0	8.7	▲16.6	▲19.1	▲36.0	▲10.0	10.0	4.4
卸売業	▲15.4	26.6	▲26.7	▲18.2	▲30.0	▲54.5	▲7.2	▲38.5	▲21.4	▲40.0	▲26.7	▲15.4	0.0
小売業	▲10.7	▲38.7	▲8.0	▲30.8	▲29.0	▲10.0	▲26.7	▲13.4	▲6.0	▲29.6	▲12.0	▲12.9	▲3.6
飲食業	▲25.0	▲22.2	▲21.1	▲61.1	▲15.8	▲52.6	▲17.6	▲22.2	▲5.6	▲35.3	▲35.3	▲22.2	11.1
サービス業	10.2	2.3	8.5	15.4	2.1	0.0	2.3	10.0	▲9.5	▲6.4	10.5	6.6	10.8

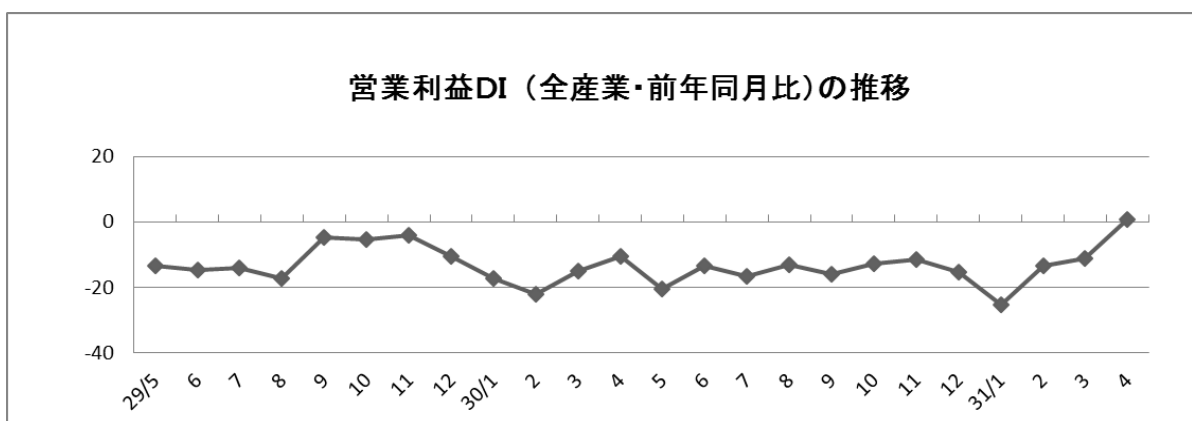


3. 営業利益DI（前年同月比）

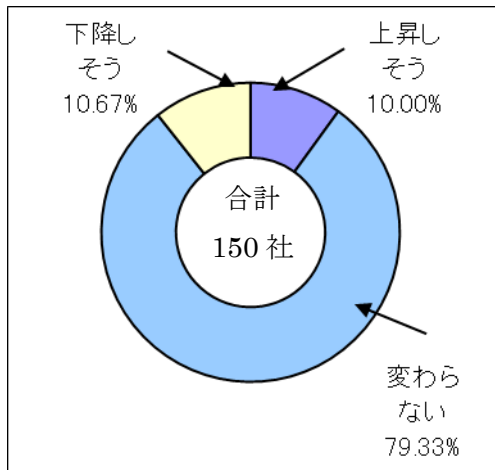
○全産業合計の営業利益DIは、前月（▲11.2）より11.9ポイント拡大して、0.7となった。業種別に見ると、サービス業はプラス幅が縮小し、製造業、卸売業はマイナスからプラスに転じた。飲食業はマイナスから0になった。小売業はマイナス幅が縮小し、建設業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
全体	▲10.6	▲20.5	▲13.3	▲16.5	▲13.1	▲16.0	▲12.7	▲11.4	▲15.3	▲25.2	▲13.3	▲11.2	0.7
建設業	▲22.7	▲13.6	▲21.7	▲17.4	▲22.7	▲12.0	▲13.1	▲4.7	0.0	▲15.0	▲16.0	▲4.2	▲4.4
製造業	▲4.4	▲15.0	▲18.2	18.2	13.0	0.0	8.7	▲11.1	▲23.8	▲32.0	▲30.0	▲20.0	8.7
卸売業	▲15.4	▲6.6	▲6.7	▲18.2	▲10.0	▲36.3	▲7.2	▲30.8	▲7.1	▲40.0	▲6.7	▲7.7	25.0
小売業	▲25.0	▲54.9	▲20.0	▲46.2	▲35.4	▲20.0	▲36.6	▲20.0	▲24.2	▲44.4	▲12.0	▲25.8	▲14.2
飲食業	▲31.2	▲33.3	▲36.9	▲66.6	▲26.3	▲47.4	▲17.6	▲33.3	▲16.6	▲35.3	▲41.1	▲27.8	0.0
サービス業	8.1	▲2.3	4.3	1.9	▲2.1	▲6.4	▲7.0	4.0	▲14.3	▲6.4	2.1	4.4	2.1

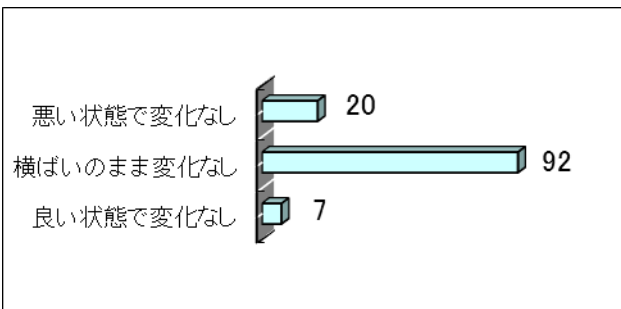


◇ 向こう3カ月の見通し ◇



○令和元年5月～令和元年7月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ1.26ポイント減少し10.00%、「下降しそう」が0.07ポイント増加し10.67%となった。業種別の見通しDIは建設業(13.1)、製造業(▲30.4)、卸売業(0.0)、小売業(3.5)、飲食業(0.0)、サービス業(4.3)であった。

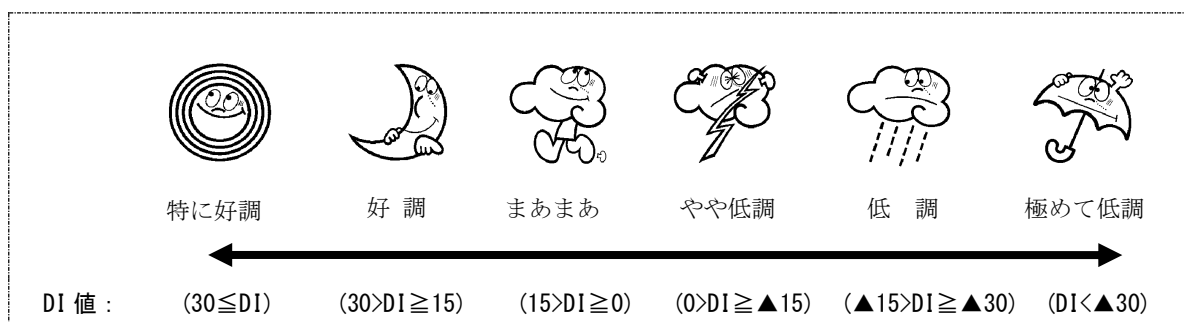
➡「上昇しそう」では「公共事業が前倒しで発注されるため」「5月後半から受注が入り出したため」(建設業)「百貨店でポイント企画があるため」「天候にもよるが、工芸の5月、6月のカエル祭りに期待ができるため」(小売業)「観光シーズン到来のため」「GW、修学旅行、夏休みがあるため」(飲食業)「複数のプロジェクトについて検収予定があるため」「観光シーズン突入により稼働も売上も大いに期待できるため」「技術と商品のバージョンアップがされるため」「活気を感じてきているため」「職業訓練受講者数が増加傾向のため」(サービス業)といった声が寄せられた。



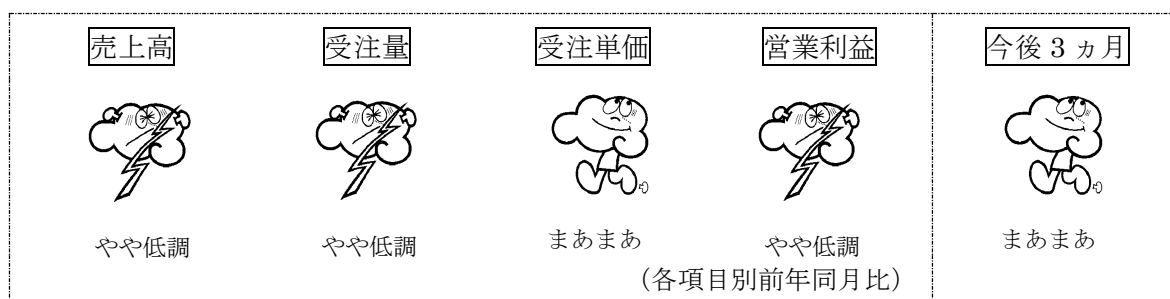
➡「下降しそう」では「消費税率UP前のかけ込み需要前で夏場は仕事が動かないと思うため」「用紙不足、用紙や材料価格値上げが正式に実施され始めているため」「稼働日が少なく受注量も減少するため」「米中の貿易状況、半導体市況等が良くないため」「中国の状態次第のため」(製造業)「5月と6月は宴会も少なく、売上が少なくなるため」「GWが終わり客足が遠のくため」(飲食業)「GWにお金を使い過ぎ、給与も減ると思われるため」「仕事以外の役割が始まり仕事を抑えなければいけない環境になったため」「4月が予想以上に良かったため」「連休後、予約が少ないため」(サービス業)といった声が寄せられた。

業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
売上高	4.6	▲4.6	▲8.7	4.3	0.0	16.0	8.7	14.3	0.0	▲10.0	▲20.0	8.4	▲8.7
受注量	▲4.5	0.0	0.0	13.1	9.1	12.0	▲8.7	9.5	13.7	▲10.0	▲12.0	▲16.7	▲8.7
受注単価	▲4.5	0.0	▲8.7	0.0	4.6	8.0	▲4.4	4.8	4.6	5.0	4.0	0.0	0.0
営業利益	▲22.7	▲13.6	▲21.7	▲17.4	▲22.7	▲12.0	▲13.1	▲4.7	0.0	▲15.0	▲16.0	▲4.2	▲4.4
見通し	4.5	18.2	13.1	8.7	9.1	12.0	4.4	4.8	13.7	10.0	12.0	▲4.1	13.1

<経営者の目・見方・etc>

建設業

- ・公共工事の発注が一段落した印象がある。
- ・人手不足が続いている。

鉄工

- ・仕事の受注は順調だが、一部資材の調達が難しくなっていることや政府の景気判断が悪くなっている等のマイナス材料がある。働き方改革も進めなければならず、慎重に経営していきたい。

総合建設

- ・県の入札における失格基準が6月以降2%上がりそうである。

建築工事

- ・過去にないほど受注が無い状態が続いている。ようやく来月下旬からの受注がちらほらとありほっとしている状況である。

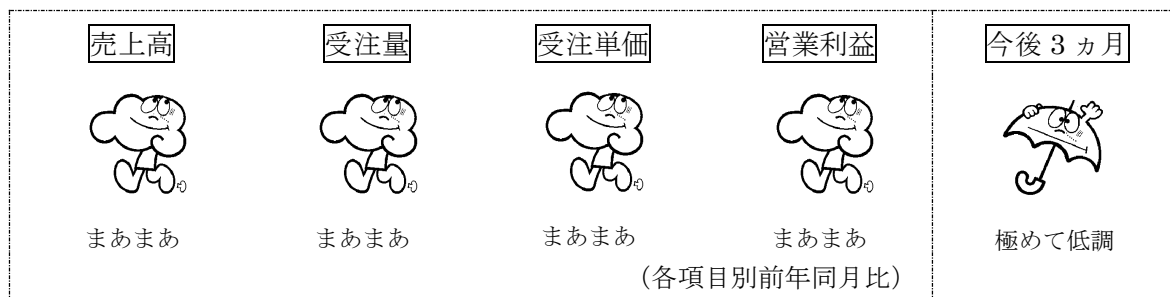
管工事

- ・通年変化がないので、受注単価が上がらない限り営業利益は望めないため、自社努力しかない。

土木工事

- ・「平成」が終わり「令和」になって業界に何か変化が起きるだろうか。受発注の仕組みが変わらなければ何も変わらないと思う。
- ・日本の賃金は世界で大きく取り残されているとの事である。過去20年で日本の時給は9%も下がり、主要国で唯一のマイナスで、貧者のサイクルから抜け出せないとの意見もある。

2. 製造業



【項目別DIの推移】

	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
売上高	8.7	▲5.0	0.0	18.2	13.0	0.0	8.7	▲16.6	▲19.1	▲36.0	▲10.0	10.0	4.4
受注量	8.7	0.0	▲4.5	4.6	13.0	▲4.0	8.7	▲22.2	▲23.8	▲40.0	▲5.0	0.0	8.7
受注単価	▲13.0	▲5.0	▲18.2	▲13.7	▲13.1	▲16.7	▲8.7	▲16.7	▲9.5	▲16.0	▲20.0	▲10.0	0.0
営業利益	▲4.4	▲15.0	▲18.2	18.2	13.0	0.0	8.7	▲11.1	▲23.8	▲32.0	▲30.0	▲20.0	8.7
見通し	▲8.7	15.0	▲4.6	0.0	8.7	▲4.2	▲8.7	▲11.1	▲14.3	12.0	0.0	▲10.0	▲30.4

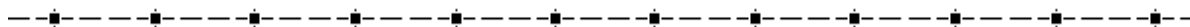
<経営者の目・見方・etc>

印刷

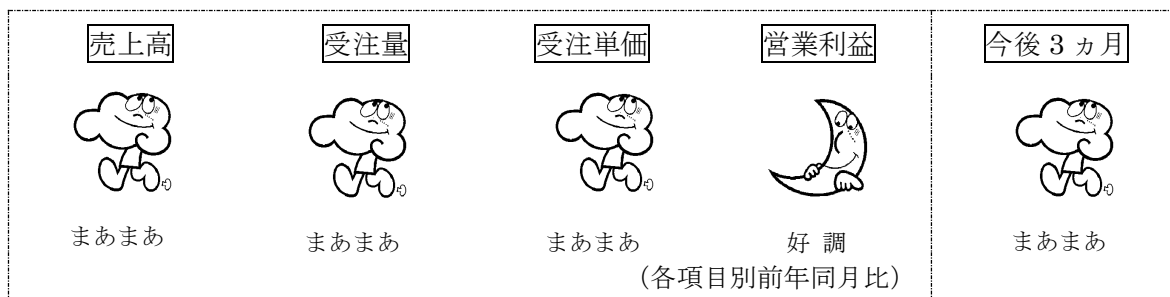
- ・新元号の発表や、統一地方選挙の影響で業界的には動いた月だと考えられるが、年度末から続いている用紙不足が夏過ぎまで続きそうな話が出ているので材料仕入れには注意が必要である。
- ・印刷用紙や材料費の値上げを価格に転嫁出来ず廃業に追い込まれている業者が出ている。軽印刷で昨年に続き中心市街地で廃業、印章業でも名刺受注から完全撤退などが発生している。
- ・市議会議員選挙の候補者の一部ポスターが、県外の業者(大阪)に流出していた。みすみす県外で良いのだろうか。
- ・大型連休の前に大手印刷機械メーカーの緊急対応の遅延が発生していた。働き方改革に伴う影響だろうか。大手の悪影響を地方中小企業が受けていては地方軽視、空虚な働き方改革ではないだろうか。
- ・出版業界の動きが悪いため、頁物印刷の動きも横ばいで推移している。

金属塗装

- ・米中貿易摩擦の影響で中国向け輸出の得意先の受注が減っている。又、中国企業による日本への売り込みが増加し単価競争が厳しくなっている。



3. 卸売業



【項目別DIの推移】

	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
売上高	▲15.4	26.6	▲26.7	▲18.2	▲30.0	▲54.5	▲7.2	▲38.5	▲21.4	▲40.0	▲26.7	▲15.4	0.0
販売客数	▲7.7	0.0	▲6.7	0.0	▲10.0	▲27.3	▲14.3	▲15.4	▲14.3	▲13.3	▲6.7	▲7.7	0.0
販売客単価	0.0	▲6.6	▲6.7	▲9.1	10.0	0.0	14.3	▲7.7	0.0	▲20.0	▲20.0	▲15.4	0.0
営業利益	▲15.4	▲6.6	▲6.7	▲18.2	▲10.0	▲36.3	▲7.2	▲30.8	▲7.1	▲40.0	▲6.7	▲7.7	25.0
見通し	▲7.7	6.7	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	▲7.7	▲14.3	▲6.7	6.7	0.0	0.0

<経営者の目・見方・etc>

土産品

・GWが10連休のため、例年と違い売れるだろうという見込み発注が多く、4月としては久しぶりの売上増になった。

青果

・前年、暖かかった為に前進出荷された品物が多かったが、本年4月は平年並みの出荷状況だったと言える。しかし、消費は活発とは言えなかった。

金属製品

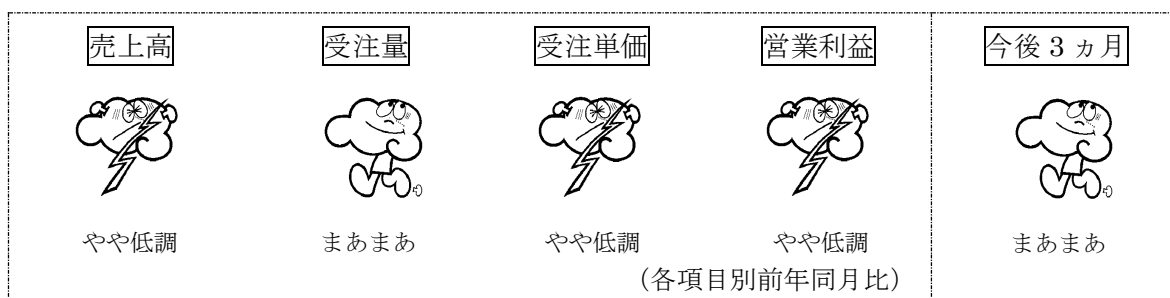
・建築関連はボルトの納期遅れはあるが顕著に推移した。メーカーの年度末生産調整が終わり、産機、建機も動きだした。

・米中貿易問題も更なる問題が発生しており、半導体業界を始めそれに携わっている精密板金業者は、今後の仕事量に不安を抱えている。

機械工具

・去年同期より勢いが無く、落ち着いてきた。

4. 小売業



【項目別DIの推移】

	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
売上高	▲10.7	▲38.7	▲8.0	▲30.8	▲29.0	▲10.0	▲26.7	▲13.4	▲6.0	▲29.6	▲12.0	▲12.9	▲3.6
販売客数	▲10.7	▲25.8	▲32.0	▲38.5	▲38.7	▲23.3	▲26.6	▲20.0	▲24.2	▲37.0	▲16.0	▲12.9	3.6
販売客単価	17.9	▲19.4	0.0	▲7.7	▲12.9	▲3.3	▲13.4	▲3.4	0.0	▲14.8	4.0	▲16.1	▲7.2
営業利益	▲25.0	▲54.9	▲20.0	▲46.2	▲35.4	▲20.0	▲36.6	▲20.0	▲24.2	▲44.4	▲12.0	▲25.8	▲14.2
見通し	▲3.6	3.2	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲9.1	0.0	4.0	6.4	3.5

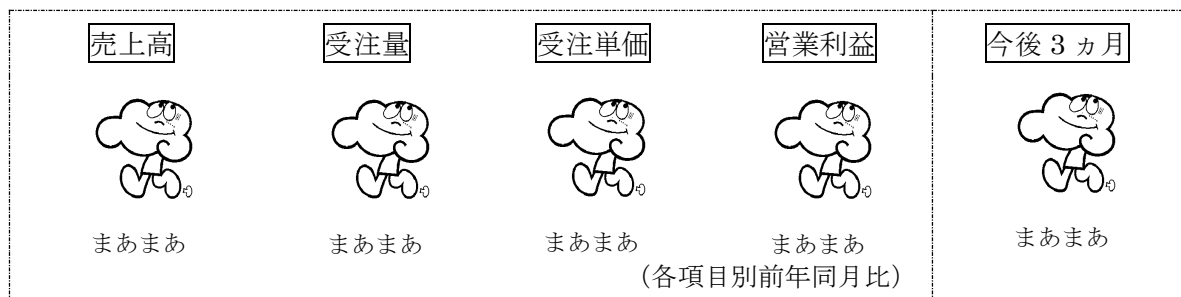
<経営者の目・見方・etc>

印章

・「令和」への元号訂正用ゴム印は、予想を上回る注文が殺到して製造が間に合わず、多くのお客様にご迷惑をかけてしまった。

印章・刃物研ぎ	・外国人観光客の日本製品に対する眼力は侮ってはならない程勉強している。
住宅機器	・少し動いてきた。
生鮮食品	・選挙があり前半は静かだったが、選挙が終わり連休に入ったとたん動きがあり、前半以上にカバーできた。
ショッピングセンター	・上旬から中旬は気温の上昇が遅く、衣料品に影響があった。 ・GWは10連休であったが全国的に分散化傾向が強く、また街場は観光客で賑わいはしたが、地元の顧客はそれを避けたように思われた。
婦人服	・リニューアルオープンして多くのお客様からの期待を感じる。ミセス層のお客様にとって欲しい物は何か考えさせられ、空間、時間、商品、何より対話する接客に期待されているように感じる。お客様が以前よりショップに長く親しくゆっくりされていかれる。
化粧品	・今年は例年以上に桜を眺める期間が長く、人出も多く賑やかな街中であった。
宝石	・周年祭があったため売上等、大きく上回った。
陶磁器	・桜が開花した後も気温の低い日が続き、例年より長くお花見が楽しめたので人出も多く営業的にはプラスだった。下旬は10連休を前に買い控えから人出も消費も落ち込んだ。史上初となる10連休の動向が予測しにくかったが、店頭は混雑することもなく、閑散とすることもなく、終わってみれば単なる長期の連休であった。
菓子	・松本山雅のJ1復帰で、浦和レッズ、川崎フロンターレのサポーターの方が多かった。松本山雅効果が出ている。 ・「松本スイーツコンテスト」等の入賞商品が井上デパートで限定販売された。 ・松本は人気の街なので連休後半の人出に期待したいと思う。
燃料	・原油の値動きが気になる。
書籍・木のおもちゃ	・入学のお祝いに本を買うといったような購買行動が減っている。本の魅力を発信できるよう努力していきたいと思う。

5. 飲食業



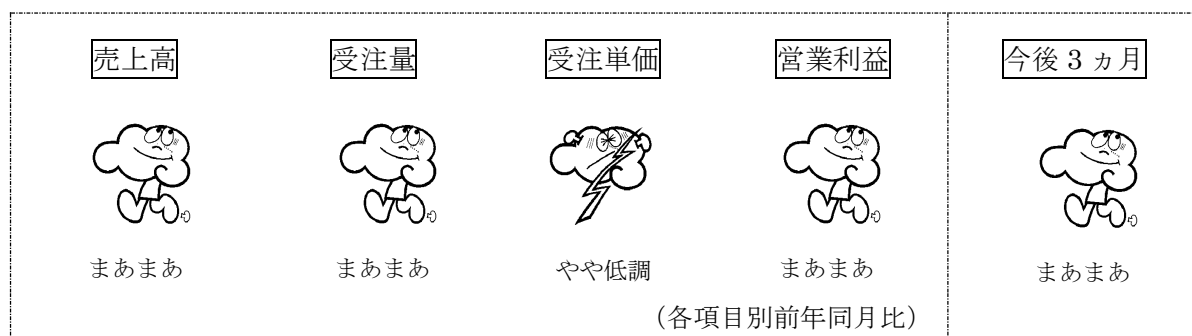
【項目別DIの推移】

	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
売上高	▲ 25.0	▲ 22.2	▲ 21.1	▲ 61.1	▲ 15.8	▲ 52.6	▲ 17.6	▲ 22.2	▲ 5.6	▲ 35.3	▲ 35.3	▲ 22.2	11.1
販売客数	▲ 12.5	▲ 22.2	▲ 21.0	▲ 72.2	▲ 15.8	▲ 52.6	▲ 11.7	▲ 22.2	▲ 11.1	▲ 23.6	▲ 41.1	▲ 16.7	11.1
販売客単価	▲ 12.5	▲ 16.6	▲ 10.5	▲ 33.3	▲ 5.3	▲ 36.8	▲ 5.9	▲ 27.8	▲ 16.6	▲ 29.4	▲ 23.5	▲ 27.7	0.0
営業利益	▲ 31.2	▲ 33.3	▲ 36.9	▲ 66.6	▲ 26.3	▲ 47.4	▲ 17.6	▲ 33.3	▲ 16.6	▲ 35.3	▲ 41.1	▲ 27.8	0.0
見通し	▲ 6.2	▲ 5.6	21.0	0.0	▲ 15.8	▲ 10.5	17.6	11.1	▲ 11.1	0.0	11.7	▲ 11.1	0.0

<経営者の目・見方・e t c>

寿司	<ul style="list-style-type: none"> ・特に観光シーズンのインバウンドを含めた観光客が年々増加傾向にある中で繁盛されている店舗は総じて観光客をうまく取り込んでいると感じる。自店においても積極的な対応を心掛けたい。 ・4月は花見シーズンの宴会と外国人観光客の増加のため全体的に良い状態であった。これからも海外からの観光客の増加に期待している。 ・県議会及び市議会の選挙があり、少し心配ではあったがさほど影響が無く良かった。中旬に雨が降りお花見シーズンも不安であったが、逆に寒さのため桜の花が長持ちして良かった。
料理	<ul style="list-style-type: none"> ・桜の開花が遅く、寒暖の差があり、人の動きが悪く、活気が無い月であった。
郷土料理	<ul style="list-style-type: none"> ・開花と共に数日間は多忙であった。連休前半の月末は平年並みの数値であったが、結果は低調の月であった。後半の連休に期待する。
仕出し料理	<ul style="list-style-type: none"> ・4月から始まった働き方改革に合わせて社員全員に有給休暇をとるよう勧め、9割が取得した。志気が上がったように思う。
中華料理	<ul style="list-style-type: none"> ・松本城の桜が寒さのおかげか、例年より長く咲いていたため予想以上の恩恵を受ける事ができた。 ・GWが4月27日からスタートし、出だしから多くの観光客が来てくれた。ただ、駐車場に入る渋滞や駐車場探し渋滞で疲れきったお客様が多く見られた。観光都市として駐車場問題を考えていった方が良いのではないかと思う。
居酒屋	<ul style="list-style-type: none"> ・選挙の月であり、企業、役所の人々が動かなかった。市議会議員選挙の4月は厳しい数字が出る事を予想していた。
洋風居酒屋	<ul style="list-style-type: none"> ・やはり10連休の影響が気になる。去年に比べると売上は減少した。
食堂	<ul style="list-style-type: none"> ・4月になり客足は落ち着いてきた。前半は寒い日が多く人出は減少気味だったが、後半に持ち直してきた感じである。
そば	<ul style="list-style-type: none"> ・去年に比べて今年は桜が長持ちし、金、土、日曜日が2週にまたぎ去年の分も取り戻した。後半の大型10連休初日も大勢の人出で、令和の恩恵を頂戴した。

6. サービス業



【項目別DIの推移】

	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
売上高	10.2	2.3	8.5	15.4	2.1	0.0	2.3	10.0	▲ 9.5	▲ 6.4	10.5	6.6	10.8
販売客数	6.1	▲ 8.9	6.4	1.9	▲ 8.4	▲ 4.2	▲ 7.0	0.0	▲ 9.5	17.0	2.1	4.4	4.3
販売客単価	4.0	4.4	4.3	5.8	4.2	4.2	7.0	4.0	0.0	▲ 2.1	6.2	6.7	▲ 4.4
営業利益	8.1	▲ 2.3	4.3	1.9	▲ 2.1	▲ 6.4	▲ 7.0	4.0	▲ 14.3	▲ 6.4	2.1	4.4	2.1
見通し	6.1	8.9	14.8	0.0	6.2	4.2	▲ 7.0	▲ 4.0	▲ 2.3	10.6	16.7	8.9	4.3

<経営者の目・見方・e t c>

自動車整備、 板金塗装	<ul style="list-style-type: none">・桜も前年より少し遅く、日々の寒暖差も大きく安定しない天気のため、3月から続くタイヤ交換がダラダラと長く続いている。・GWは小規模会社には痛い休みの長さである。
機械設計	<ul style="list-style-type: none">・良いところと悪いところの差が出てきている。自動車関係は良い常態で続いている。
温泉旅館	<ul style="list-style-type: none">・4月になり松本も温暖で、観光、スポーツのシーズンとなり、客足も好調で多忙であった。
ホテル	<ul style="list-style-type: none">・サービス業、特にホテルの宿泊、宴会などの需要は2～3ヵ月前の景気に影響されると考えられる。1月の株安から始まった影響がようやく4月になって戻った感じがする。4月は去年同様比較的好調であった。・花フェスタに期待している。
タクシー	<ul style="list-style-type: none">・冬季閉鎖されていた上高地線道路が4月17日には開通して、沢渡、上高地のタクシー配車センターが開所した。観光シーズンに入り、半数の車輛が上高地方面での営業になった。
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none">・軽減税率対応と同様、改元によるOSその他の利用環境での影響が大きい。・先日配布が始まったWindowsUpdateだが、ベータ版の段階で適用した環境では、フォントの不具合のため、運用中のシステムの画面レイアウトが崩れた。ただし、正式版では修正されている。システムの専任者がいない企業では注意されたい。
マナー講師	<ul style="list-style-type: none">・毎年4月は新人研修や、年度初めの研修があり、1年の中でもご依頼が多い時期である。特に接客研修は研修の中でもとても重要で大切なことと捉えてほしいと思う。人材を大切に考え、世の中全体が人と人との繋がりの中、より豊かな環境で仕事ができるよう、是非考えて頂きたいと思う。
美容業	<ul style="list-style-type: none">・入学や入園などイベントがあるため4月頭までは忙しかった。その後は落ち着いたが、前年より売上は上がり好調だった。
ネイル	<ul style="list-style-type: none">・来月に全国で行われるネイル技能検定試験に向けて受験生は追い込み練習をしている。
リラクゼーション 教育業	<ul style="list-style-type: none">・4月前半は客足が遠かった・4月に入り問合せは何件か来た。体験に来て頂いて、新規の生徒さんが増える事を期待する。
ホームクリーニング・ リネンサプライ	<ul style="list-style-type: none">・インバウンドによる海外からの来松者は引き続き堅調であるが、原油価格の上昇及び米中貿易摩擦による景気の減速が気掛かりである。
測量・建設コン サルタント業	<ul style="list-style-type: none">・公共事業の発注量が多いが競争が激しく受注に結びつかない。民間の仕事が少ない。